

## 第 65 回西日本生理学会

日 時：平成 26 年 10 月 23 日（木），24 日（金）  
場 所：琉球大学研究者交流施設 50 周年記念館  
当番幹事：琉球大学大学院医学研究科システム生理学講座 酒井哲郎  
琉球大学大学院医学研究科分子・細胞生理学講座 松下正之  
参加者：85 名  
演題数：25 題

第 65 回西日本生理学会は沖縄県西原町の琉球大学において平成 26 年 10 月 23 日の 12 時より翌 24 日の 11 時 35 分までの 2 日間にわたって開催された。一般演題 18 題に加え、奨励賞審査対象演題 7 題の計 25 題の演題が寄せられ、盛会のうちにおこなわれた。

37 歳以下の若手研究者を対象とした「日本生理学会九州奨励賞」には渡辺佐耶加氏（熊本大・生命科学研究部）の「Cdkal1 機能異常を標的とした 2 型糖尿病治療薬の最適化」と元嶋尉士氏（産業医科大・医学部）の「消化管ホルモン末梢投与後の視床下部オキシトシンニューロンの活性化～オキシトシン-mRFP1 トランスジェニックラットを用いた検討～」が選ばれた。このほかの演題もいずれも優れたものであり、今後の研究の発展を期待したい。

1 日目の学会終了後には懇親会が開かれ、泡盛の杯を傾けながら楽しい時を過ごすことができた。

評議員会および総会では、次回の当番校久留米大学より学会案内があった。

西日本生理学会は小規模の地方会であるが、それだけに、特に若い研究者にとって、幅広い分野の研究者と親しく交流できる貴重な機会といえる。文字通り「海を越えて」お集まりいただいた先生方にこの場を借りて深く感謝の意を示したいと思う。（酒井 記）

---

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/exec/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2） p. 39～p. 46 をご覧ください。